



第379号 平成22年2月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館 2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 長村吉朗

平成21年夏からの京都市における 新型インフルエンザの感染拡大に関する一考

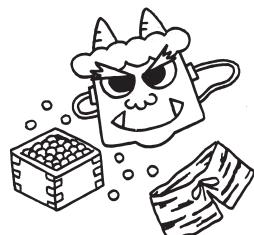
会長 長村吉朗

平成21年5月に京都市の児童が1名新型インフルエンザに感染したことが判明した後、いったん不気味な水面下での動きの後8月になり急速に学校における感染報告が増加し、学級閉鎖も急増してゆきました。学級閉鎖が初めて行われました8月24日より、感染報告数がピークを記録しました11月2日までの京都市における学級閉鎖の行政区別の推移を表にまとめましたので、勝手な私見を交えご呈示いたします。

小学校、中学校の学級閉鎖の行政区別の推移では、小学校のグラフにその特徴が現れているように思われます。今回の新型インフルエンザに伴う学級閉鎖は小学校は北区、中学校は右京区から、8月末の夏休み明け直後から始まりました。北区、右京区の学級閉鎖はグラフの全期間を通じだらだらと続き、10月中旬に少し低いピークを迎えていました。それに対し伏見区、山科区は10月に入り学級閉鎖が出てくると急速にその数を増やし10月下旬に大きな山を認めています。小学校のピークが10月下旬であるのに対し、中学はそれより2週間程度早い10月10日前後となっています。その行政区における中学校の学級閉鎖の増加に1週間程度遅れて小学校の学級閉鎖が増加していきます。今回のインフルエンザの感染に対し多くの先生方が高校生から中学生、さらに小学生と感染時期が少しづつ遅れて最後に幼稚園、保育園児に感染が広がっていったと感じていられると思い

ますが、少なくとも中学、小学校の間ではその感覚は正しかったと思われます。ではその原因は何だったのでしょうか。残念ながら、このグラフからはその答えは出てきません。私の個人的な考えでは、その原因是それぞれの世代の行動範囲にあるのではないかと考えています。今回の新型インフルエンザは当初思っていたほど感染力が強くなく、そのため行動範囲の広い年齢が上の世代から感染が広まっていったのではないかでしょうか。本当に感染力が強ければこの様な感染時期のズレは起こらないで、感染のピークはもっと急峻なものになったのではないでしょうか。そのおかげでワクチンの供給が少しは間に合いましたし、少なくとも京都では医療機関の診療体制がパンクする事態も避けられたと思います。

今回の経験を反省し、今後のパンデミックに備える一つの記録としてこの表を提示いたしました。いろいろなご意見がおありになるかと思いますが、お聞かせいただきますようお願いいたします。



京都市立学校における学級閉鎖の状況 5

会長 長 村 吉 朗

この原稿は、1月号に引き続き京都市立学校におけるインフルエンザによる学級閉鎖の状況を勝手な予測をまじえて掲載いたします。なお、この記載は前号に続き1月7日から記載しております。また表の説明は9～11月号に記載しておりますものを参照ください。

表1 京都市立学校における学級閉鎖状況

日	8 24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	1	1	2	2	3	—	—	9	10	11	15	14	—	—	22	19	23	23	13	—	—	20	22	26	26	12	—	—
閉鎖学級数	1	1	2	2	3	—	—	15	21	19	25	21	—	—	34	27	31	31	14	—	—	33	35	44	44	12	—	—
日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
曜 日	祝	祝	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日
学校数	—	—	—	10	11	—	—	7	7	11	11	20	—	—	33	37	40	40	25	—	—	—	33	52	53	44	—	—
閉鎖学級数	—	—	—	15	16	—	—	14	9	19	19	36	—	—	81	88	102	104	60	—	—	—	89	140	148	107	—	—
日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	32	55	67	77	73	—	—	80	111	121	120	90	—	—	87	—	82	77	61	—	—	48	75	81	81	58	—	—
閉鎖学級数	54	97	119	150	140	—	—	149	224	235	234	168	—	—	151	—	154	141	97	—	—	84	122	137	138	84	—	—
日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	52	67	68	65	51	—	—	—	58	76	72	57	—	—	38	53	53	45	27	—	—	26	33	38	31	23	—	—
閉鎖学級数	69	140	139	135	65	—	—	—	128	152	143	108	—	—	47	68	69	55	35	—	—	36	43	109	94	84	—	—
日	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	27	28	24	14	11	—	—	5	7	—	2	0	—	—	休	休	休	休	—	—	—	休	休	0	0	0	—	—
閉鎖学級数	30	31	25	15	11	—	—	8	10	—	2	0	—	—	休	休	休	休	—	—	—	休	休	0	0	0	—	—
日	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7
曜 日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	—	0	0	1	1	—	—	4	5	5	3	1	—	—	1	1	2	1	1	—	—	0	0	1	1	1	—	—
閉鎖学級数	—	0	0	1	1	—	—	4	5	5	3	1	—	—	1	1	2	1	1	—	—	0	0	1	1	1	—	—
日	8	9	10	11	12	13	14																					
曜 日	月	火	水	祝	金	土	日																					
学校数	0	0	0	—	0	—	—																					
閉鎖学級数	0	0	0	—	0	—	—																					

1月号の数字とは訂正箇所があります。

エンザによる授業カット騒ぎはほぼ終息してものと考えています。今後は残されたわずかな期間にどれだけ回復措置が出来るかが心配です。

1月15日記 昨日1校1クラスの学級閉鎖が伏見区で発生しました。欠席生徒数も徐々に増加しており、沖縄のように再度の流行拡大が来るのでしょうか。予断を許しません。それにしても予防接種の人気がない。来るのは1歳未満の乳児の両親のみで、子どもが既に罹患してしまったのかほとんど受けません。我が医院だけなら良いのですが…。

1月25日記 心配していましたが、欠席児童数に

急激な伸びは認められません。このまま終局に向かうと良いのですが…。

1月28日記 学級閉鎖が伏見区において発生しています。やはり感染拡大が遅れたためなのか、児童数が多いためなのかは分かりません。感染報告も伏見区で多く、右京区でもやや認めます。

2月3日記 節分の寒い朝を迎えてます。しかし感染報告数は二桁となり、冬休み明けの全ての学校が開いていない時期を除く8月以来の数となっています。このまま終息してくれると良いのですが…。

鬼は外！福は内！病気は来ないで…。

表2 京都市立学校のインフルエンザ感染および発熱による欠席者の状況

日	8 24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数				13	24	—	—	37	31	30	43	53	—	—	61	55	61	56	64	—	—	69	57	54	62	65	—	—
欠席児童数				38	62	—	—	160	125	166	157	219	—	—	378	373	226	293	293	—	—	359	383	381	334	471	—	—
日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
曜 日	祝	祝	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日
学校数	—	—	—	91	80	—	—	70	76	69	76	76	—	—	84	92	104	89	99	—	—	—	117	138	129	142	—	—
欠席児童数	—	—	—	487	382	—	—	246	279	260	294	335	—	—	373	520	665	581	787	—	—	—	1106	891	803	978	—	—
日	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	158	161	150	177	164	—	—	169	161	180	170	169	—	—	175	—	169	167	177	—	—	183	189	175	181	180	—	—
欠席児童数	1176	1370	1083	1289	1292	—	—	1550	1506	1422	1546	1633	—	—	1889	—	1309	1293	1412	—	—	1427	1478	1434	1291	1389	—	—
日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	171	171	173	167	179	—	—	—	189	176	171	183	—	—	172	198	188	200	198	—	—	176	183	195	202	203	—	—
欠席児童数	1196	1143	1102	1193	1301	—	—	—	1765	1361	1340	1385	—	—	1091	1281	1066	1120	1081	—	—	1069	1084	1051	1026	991	—	—
日	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	194	189	183	175	169	—	—	144	140	—	90	24	—	—	休	休	休	休	—	—	—	休	休	24	78	105	—	—
欠席児童数	958	905	887	754	661	—	—	539	597	—	362	66	—	—	休	休	休	休	—	—	—	休	休	33	110	157	—	—
日	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7
曜 日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
学校数	—	86	96	96	96	—	—	82	87	81	82	89	—	—	58	59	60	64	60	—	—	46	47	39	34	31	—	—
欠席児童数	—	145	192	201	202	—	—	196	209	203	194	194	—	—	129	125	129	135	119	—	—	81	83	80	64	58	—	—
日	8	9	10	11	12	13	14																					
曜 日	月	火	水	木	金	土	日																					
学校数	25	26	29	—	20	—	—																					
欠席児童数	40	43	49	—	27	—	—																					

1月号の数字とは訂正箇所があります。

大文字駅伝予選会の健康調査

福西小校医 奥 村 正 治

新型インフルエンザ大流行の11月21日（土）に西京西部地区の小学生大文字駅伝の予選会が地域の真ん中を流れる小畠川の河川敷で行なわれた。天候にはめぐまれ、転ぶ子供達もなく、当日の様子は特別に変わりなく終了した。

本年は、インフルエンザもあり、走る児童達に図1の様な健康チェックカードに記入していただき、万全を期した。発熱37°C以上の子供さんには、問診、咽頭のチェックを行ない走行をしてもらった。調査の結果は表のとおりであるが、鼻汁の出ている子供達が多いにおどろいた。鼻汁の出ている子供32名中、2週間以上も鼻汁の続いている子供達は21名も出て来た。予選会で走った人の1/5(21.4%)の子供さんが、たぶんアレルギー性鼻炎の状態で走行していたと思われる。又、設問3の足は痛くないですか？

(図1)

大文字駅伝大会 西京西支部予選会 健康チェックカード	
<input type="checkbox"/> 走者	小学校 名前 _____
①ここ3日間で咳はありませんか？ない・ある(いつから？ 日より)	
②ここ3日間で鼻汁が出ましたか？ない・ある(いつから？ 日より)	
③足は痛くないですか？	ない・ある(いつから？ 日より) 場所はどこですか？()
④頭痛はないですか？	ない・ある(いつから？ 日より)
今日の体温	°C
今日の体調はどうですか？	良い・悪い(どこが？)

には、膝関節部痛5例、足関節部痛4例、足甲部痛3例、下腿筋肉痛2例、踵痛1例、不明1例の16例の子供達が、痛みを感じながら走行した事になる。整形外科的な指導なしで、行なわれていたとしたら……。指導者に一考と云いたい。ただ、今日の体調はどうですか？の間には、2人以外は良いという結果であり、この点もこれから指導の問題と思われる。
※

当日走った児童は、男女5名ずつの駅伝選手と、補欠の児童のオープン参加の子供達を加えて、98名の参加であった。(表1)

※1校は筆跡より先生がまとめられた学校があり、子供達みずからの声でなかった様に思われたのは残念であった。

(表1)

学校名 項目	S	F	K	T	K	O	S	O	計
異常なし	5	5	14	7	3	11	3	3	51
① 咳		1			1				2
② 鼻汁		4		2	1		6	6	19
③ 足痛	1			1	4		1	1	8
④ 頭痛								1	1
⑤ 体温37°C以上	2						1		3
①+②					1			1	2
②+③		1		2	1		2		6
②+⑤	1							1	2
③+⑤	1								1
②+咽頭痛							1		1
①+②+③								1	1
①+②+⑤					1				1
計	10	11	14	12	12	11	14	14	98

第1分科会「からだ・こころ」生活習慣病

専務理事 林 鐘 声

11月14日（土）、広島市で開催された第40回全国学校保健・学校医大会のうち、第1分科会について報告します。

1	地域の食育活動に健康教育を組み入れた生活習慣病予防の試み 一校医は地域の健康プロモーターー	兵庫県医師会 橋本 彰則
2	東京都医師会における健康教育への取り組み —「児童生徒の生活習慣改善健康教育マニュアル」作成について—	東京都医師会 東川 泰之
3	「給食の摂食状況から推定する健康状態の把握」 第2報 毎日の健康観察への取り組み	愛知県医師会 高田 秀夫
4	各務原市の小児生活習慣病に対する2008年度の取り組み	岐阜県医師会 岩田 吉弘
5	群馬県子どもの生活習慣病予防対策事（第1報）	群馬県医師会 今泉 友一
6	広島県安佐地区小学校6年生の30年間、6回目の定点観測による 2008年度の健康状態について	広島県医師会 桑原 正彦
7	札幌市学校協議会の肥満症児童・生徒への取り組み	北海道医師会 小池 明美
8	生活習慣チェックシートを用いた児童・生徒の生活習慣病予防対策	三重県医師会 富樫 健二
9	非肥満高校生におけるインスリン抵抗性と循環器疾患危険因子の関係	愛知県医師会 馬場 礼三
10	徳島県における生活習慣病予防対策委員会の試み8	徳島県医師会 勢井 雅子

健康教育と医療的な早期介入がキーワードとなる10題でした。

「生活習慣の改善は子ども個人の責任に嫁させるべきではなく、保護者・教育者を含めた社会の責任」であることから、「新しい医学知識を有する校医こそが、健康教育を実践していく立場にある」という共通認識があるものと理解できました。健康教育の講演のためには、適当な教材があると助かるところから著作権法に触れずに誰でもが利用可能なCD教材の提示や、健康教育の対象者を生徒ばかりではなく保護者も巻き込むために、講演だけでなく食育活動に関連した触れ合いの場をつくる行事などを行政と連携して企画実行したとする取り組みの紹介もありました。他には、独自に作製した生活習慣チェックシートを児童生徒に記載させ、その分析結果を子ども達や保護者に還元することで、食習慣、睡眠、運動、体型の関連に注意を促がそうとする報告がありました。

早期介入の1つとして、学校給食の摂食状況を子ども達に毎日記録させ、その変化の様子から、子ども達の身体的、精神的健康状態を予測、把握できることを示し、給食が単なる栄養補給にとどまらず、健康観察にも利用できるとする発表には、その目指

す所はよく理解できたものの、現場の教育者がさりげなくしていることを、点数をつけて可視化することには給食に堅苦しさをもたらすものとして、少し違和感を覚えました。

次に、メタボ（メタボリックシンドローム）検診を学校現場で行うとして、採血をとり入れた報告が3題ありました。学校現場ということで、空腹時採血を昼食前に実施したとする2題では採血結果とりわけ中性脂肪値の評価に問題をのこすところでした。そこで、早朝空腹時採血を徹底させるため、生徒たちは朝食を摂らず早い目に校し、採血に朝食としてした当を食べて通むという、多方面の理解と協力を必要とする報告もありました。手間、ひま、お金をかけた活動を通して貴重なデータが提供されていましたが、学校で採血することから、学年を絞ってその中から希望者を募り実施する形をとらざるを得ず、全員実施のデータではないという限界をつっていました。その中で、広島県医師会からの報告では、3つの小学校の6年生の希望者262人に、麻疹、風疹、おたふくかぜ、百日咳の抗体測定をメタボ検診と併わせて実施したところ、百日咳については約50%の生徒が発病予防に充分な抗体をもっていないとのことでした。

身体測定値から肥満度判定を行い、とくに高度肥満については医療機関への受診をすゝめるのは、どこでも行っている介入の仕方です。受診率を調査した札幌市では10%ということでした。介入や健康教育は、最も必要とする人には届きにくく、その介入の仕方、健康教育を通しての改善を促す方法については、答えは見い出し難く、それだからこそ、介入、教育を地道にしていくという状況にあるようです。

京都市学校医会についてみると、相談事業は巾広く行っている一方で健康教育や介入については、以前に血圧と体型の調査をしましたが、現在では平成12年に作製した「肥満とやせの指導マニュアル」に

準拠して指導していることが挙げられるぐらいでしょうか。

そこには、小学4年生以上では肥満度40%以上、3年生以下では高度肥満の児童は、学校医、主治医を受診して採血を含めた管理指導していくことが示されています。学校現場では養護教諭が中心となって受診勧奨をしていますが、受診率などのデータは把握できていないのが現状です。2011年5月には、政令指定都市学校保健協議会を京都市が主催することが決まっています。学校医会の活動として、健康教育や介入についてできること、できないこと、改めて検討協議する必要があるようです。

中国学校医事情（その7、こぼれ話）

会長 長村吉朗

さて、6回にわたり中国で経験した話を書いてきましたが、書ききれなかった雑多なことを報告いたします。

まず、この話をみて杭州に行ってみようと思われる方にアドバイスです。空港の免税店は小さくブランド品は一切売っていません。化粧品は有りませんし、アルコールも紹興酒を除くとほとんどありません。必要な方は関空で買うことをおすすめします。ただ中国への持ち込みが制限が厳しいと言われていましたが、入国には何のチェックもありません。入国審査もほとんど顔パスですが、書類にサインをするのを忘れている人を多く見かけました。何せ飛行機に乗って、食事を食べて、トイレに並んだらもう着陸ですから、忘れるのも無理有りません。空港で売っている中國土産のたぐいはパンダチョコレートなど魅力的（??）なものがありますが、値段は町中より数倍高いです。町でスーパー（向こうではそう呼んでいましたが、日本のコンビニより少し広い程度です。）で買った方が良いでしょう。ただほっこりがかかっていることが多く、人にあげるものはホテルできれいに拭く必要があります。ホテルでビールが12元（180円）でしたからいつもそれを飲んでいましたが、スーパーでは同じものが3.5元（50円）で売っていました。ただコンビニには酒は売っていませんでした。道を渡るのは非常に危険ですので、

コンビニは水を買う以外に行く必要はないでしょう。スーパーを見つけ次第、酒類や土産の大量購入をお勧めします。ただ入れる袋を持っていかないと、最近はどこでも袋はくれないそうです。折りたたみの出来るリュックを持っていくことをおすすめします。

私どものホテルは友好飯店という名前でまあまあのホテルでしたが、注意をしないと風呂ではなくシャワーの部屋になるそうです。杭州で1番新しくて良いホテルはハイアットで、西湖のほとりに建つ非常に景色の良い部屋のありそうなホテルでした。ただ値段は友好飯店と比べると倍以上だそうです。次はハイアットが出来るまで1番であったシャングリ・ラです。これは西湖の眺望が一番良いホテルですが、設備がやや古いとのことでした。

食事をしようと思えば、店は多くあり選ぶのに困るほどです。ただ、個室を予約しないと騒がしくて大変です。朝食も5時くらいから開いている店もあり、その頃は道を渡るのも比較的安全ですので、散歩がてら寄るのもおすすめです。

今回買っとかなくて後悔したのは、お茶です。杭州はお茶の産地として有名で、その種類も龍井茶（ろんじんちゃ）と言い緑茶です。お茶農家で出されたお茶が新茶の時期の為か、新芽だけの本当に小さい葉のお茶でした。日本にもあるのかよく知りませんが、土産店で探しましたが、二度と出会えませ

んでした。

今度の旅は、まだ頭の片隅に冷凍餃子事件や段ボール肉まんの記憶があるため半分腰が引けていたのですが、非常に楽しく実りある旅でした。皆様も一度杭州を訪れてみられてはいかがでしょうか。ちなみに今回の旅は、はるかの費用から三食お酒まで入れて12万円ぐらいでした。(中国側が手配をしてくれ

たので、これくらいで済んだのかもしれません。)なお土産はみんなから中国だからいらないといわれることが多く、余り買う必要がなかったこともよかったです。長々と引き延ばし、また本来の目的に関する記載はほとんど有りませんでしたが、これで青少年危機処理指導計画の話を終わります。

第29回京都市小学生持久走記録会

専務理事 林 鐘 声

1月31日(日)、上記の大会が鴨川西岸をスタートして葵橋を渡って東岸を北上し出雲路橋を経由して戻る約1.7kmのコースで開催されました。参加136校の小学6年生2,601人(男子1,519人、女子1,082人)は、男子37組、女子30組に分れ走りました。医務班は大久保理事と私。走路は小石は少なくやや湿り気があり、舗装されている橋の上り下りの所も例年に比べて滑る心配の少ない状態でした。

開会式の時は曇り、競技開始後は時々小糠雨、徐々に気温が下がるのが体感できるほど冷え冷えしていました。

インフルエンザ流行は下火となり、感染性胃腸炎はあるものの病気が少ない頃であったせいか、体調不良を訴えて医務テントを訪れた生徒は今年はなく、訪れた8人は外傷を主訴とする者で、擦過傷6人、捻挫2人、その発生場所と人数は各々、スタート時

3人、橋3人、ゴール直前2人でした。捻挫のため途中棄権した1人は、右足首関節部位の腫脹が目立ち、翌日の受診を薦めましたところ、全治2~3週という報告が上ってきました。

小学6年生の約1/4が参加し、間近に迫った大文字駅伝を見据えてよくトレーニングした児童がいる一方で、とても走るのが得意とは云えない児童も少なからずいましたが、走り終った後でニコニコしていたり、級友たちとの会話が弾んでいる様子は、お互いに応援する姿も合わせて、好ましい印象をもたらせていました。

女子トイレは絶対数が少なく、今年も長蛇の列でしたが、前もってそのことを周知することで出走に間に合わないなどという混乱なく、このことも含めて円滑な大会運営であったように思います。競技終了後、1:30PM2人して会場を後にしました。

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

平成22年 校医・小児科医感染症講演会

とき：平成22年3月6日（土）午後4時～6時

ところ：京都全日空ホテル 2階 平安の間（堀川御池）TEL 075-231-1155

講演：「新型インフルエンザ最新の知見(案)」

富山大学大学院医学薬学研究部 ウィルス学教室 教授 白木 公康 先生

第23回 京都府眼科学校医研修会

とき：平成22年3月13日（土）午後3時～6時

ところ：こどもみらい館（中京区間之町通竹屋町下る）TEL 075-254-5001

講演：1.「学童期の斜視と屈折異常」 ささもと眼科 院長 佐々木研二氏

2.「学校保健に関わる皮膚疾患」 神奈川県立こども医療センター皮膚科

部長 馬場直子氏

3. 京都府眼科学校医会から「視覚障害児の学校教育」

京都府眼科学校医会 幹事 松本康宏氏 他

第8回 常任理事会

平成22年1月9日

於 栄屋

出席者 長村会長、平位副会長、林専務理事、竹内・
福持・井本・大久保・杉本各常任理事、原
山眼科学校医会会长、佐野眼科学校医会副
会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医会理
事

• 会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 12/15
2. ワンポイント相談 12/24
小2男子 A D H D ?
3. 第24回京都市小学校大文字駅伝大会出場選手
整形外科の検診第1日 12/26
4. 京都府歯科医師会「平成22年新年互礼会」
1/6 於：歯科医師会館 長村出席
5. 第24回京都市小学校大文字駅伝大会出場選手
整形外科の検診第2日 1/9
6. その他

<協議事項>

1. 感染症の予防接種・既往歴調査票添付文書につ
いて
日脳ワクチン接種に新たな動向があるか否か
2. 校医・小児科医感染症講演会について
座長 大久保
3. その他
「肥満とやせの指導マニュアル」について

<関連学会・各種協議>

1. 精神衛生研究会 1/14
2. 腎臓相談 1/19
3. 結核対策委員会 1/26
4. ワンポイント相談 1/28
5. 京都市小学生持久走記録会 1/31
林、大久保出務
6. 第9回常任理事会 2/6 1:30 p m~

第9回 常任理事会

平成22年2月6日

於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、
東道・蘆原・井本・杉本各常任理事、佐野
眼科学校医会副会長、星谷耳鼻咽喉科専門
医会理事

• 会長挨拶

<報告事項>

1. 精神衛生研究会 1/14 8名参加
2. 腎臓相談 1/19 2名 井本理事 新担当
3. 結核対策委員会 1/26 来月号参照
4. 京都市小学生持久走記録会 1/31 今月号参照
5. その他

<協議事項>

1. 全理事会について 4/8 (木) 2:00pm~
2. 会員異動について
3. 仮決算について
4. 第24回京都市小学校大文字駅伝大会について
5. 新任校医研修会について
3/25 (木) 2:00pm~
6. その他
平成21年度 MR予防接種実施状況 (12月末)
II期 65.2% III期 91.5% IV期 43.4%

<関連学会・各種協議>

1. 京都府医師会新春賀詞交歓会 2/6
於：リーガロイヤルホテル 6:00pm
2. 第24回京都市小学校大文字駅伝大会 2/14
3. 東山支部会 2/14
4. 腎臓相談 2/16、3/2
5. 精神衛生研究会 2/18
6. 日医学校保健講習会 2/20 長村、奥村出席
7. 油谷桂朗先生旭日小綬章受賞祝賀会 2/20
グランヴィアホテル 6:00pm
8. ワンポイント相談 2/25
9. 第10回常任理事会 3/6 1:30 p m~